

JIS

120 mm DVD-RAMディスク用ケース

JIS X 6244 : 1998

(2004 確認)

平成 10 年 1 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。主務大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

この規格には、次に示す附属書がある。

- 附属書A(規定) 基準面に対するケースの位置
- 附属書B(規定) エッジひずみ試験
- 附属書C(規定) コンプライアンス試験
- 附属書D(参考) タイプ2ケース又はタイプ3ケースの開口カバーの例
- 附属書E(参考) 輸送

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成10. 1. 20

官 報 公 示：平成10. 1. 20

原案作成協力者：財団法人 光産業技術振興協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会 (部会長 棟上 昭男)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
第1章 一般事項	1
1. 適用範囲	1
2. 適合性	1
3. 引用規格	1
4. 定義	1
4.1 カートリッジ	1
4.2 ケース	1
5. 慣例及び表記法	1
5.1 数値表示	1
6. ケースの概要	2
6.1 タイプ1ケースの概要	2
6.2 タイプ2ケースの概要	2
6.3 タイプ3ケースの概要	2
7. 一般要求事項	3
7.1 環境条件	3
7.1.1 試験環境条件	3
7.1.2 動作環境条件	3
7.1.3 保存環境条件	4
7.1.4 輸送	4
7.2 温度衝撃	4
7.3 安全性	4
7.4 耐燃性	4
第2章 ケースの寸法及び機械的特性	4
8. 寸法特性	4
8.1 タイプ1ケースの寸法	4
8.1.1 全体の寸法	4
8.1.2 ロケーション穴	5
8.1.3 アラインメント穴	5
8.1.4 基準面	6
8.1.5 挿入スロット	6
8.1.6 ディテント	6
8.1.7 グリップスロット	7
8.1.8 書込み禁止穴	7
8.1.9 センサホール	7
8.1.10 センシング領域	8
8.1.11 スピンドル窓及びヘッド窓	8

	ページ
8.1.12 シャッタ形状	9
8.1.13 シャッタオープナの経路	9
8.1.14 レーベル領域	10
8.1.15 A面及びB面の識別マーク	10
8.2 タイプ2ケースの寸法	20
8.2.1 全体の寸法	20
8.2.2 ロケーション穴	21
8.2.3 アライメント穴	21
8.2.4 基準面	22
8.2.5 挿入スロット	22
8.2.6 ディテント	22
8.2.7 グリップスロット	23
8.2.8 書込み禁止穴	23
8.2.9 センサホール	23
8.2.10 センシング領域	24
8.2.11 スピンドル窓及びヘッド窓	24
8.2.12 シャッタ形状	25
8.2.13 シャッタオープナの経路	25
8.2.14 レーベル領域	26
8.2.15 A面の識別マーク	26
8.2.16 ケースからディスクを取り出すための開口及び開口カバー	26
8.3 タイプ3ケースの寸法	36
8.3.1 センサホール	36
8.3.2 開口及び開口カバー	37
9. 機械的特性	37
9.1 材料	37
9.2 質量	37
9.3 エッジのひずみ	37
9.4 コンプライアンス	37
9.5 シャッタオープニング力	37
10. カートリッジとドライブ間のインタフェース	37
10.1 キャプチャシリンダ	37
10.2 ケースの内部寸法	38
11. ケース内のディスクの方向性	40
11.1 ケースタイプ1内の両面ディスク(タイプ2S)	40
11.2 ケースタイプ1, 2及び3内の片面ディスク(タイプ1S)	40
附属書A(規定) 基準面に対するケースの位置	41
附属書B(規定) エッジひずみ試験	42
附属書C(規定) コンプライアンス試験	44

	ページ
附属書D(参考) タイプ2ケース又はタイプ3ケースの開口カバーの例	46
附属書E(参考) 輸送.....	48
解説.....	49

白紙

120 mm DVD-RAMディスク用 X 6244 : 1998 ケース

Case for 120 mm DVD-RAM Disks

第1章 一般事項

1. 適用範囲 この規格は、120 mm DVD-RAMディスクに使用するためのケースの特性を規定する。この規格は、関連するが仕様の異なる次の三つのタイプについて規定する。

タイプ1 片面(タイプ1S)又は両面(タイプ2S)DVD-RAMディスクを収納する、ディスクを取り出せないケースを規定する。このケースは、裏返し使用可能である。

タイプ2 片面DVD-RAMディスク(タイプ1S)を収納する、ディスクを取り出すことができるケースを規定する。このケースは、裏返し使用不可能である。

タイプ3 片面DVD-RAMディスク(タイプ1S)を挿入して、カートリッジとして使用してもよいケースを規定する。このケースは、裏返し使用不可能である。

この規格は、次の項目について規定する。

— ケースの動作環境及び保存環境条件

— データ処理システム間の機械的互換性を確保するためのケースの寸法及び機械的特性

この規格は、光ディスクドライブ間の機械的互換性を与える。120 mm DVD-RAMディスクの規格及びボリューム及びファイル構造の規格とともに、データ処理システム間の完全なデータ互換性を与える。

2. 適合性 この規格では、ケースのタイプを規定する。ケースは、そのタイプの要求事項を満たすとき、この規格に適合する。

3. 引用規格

JIS X 6243 120 mm DVD-書換形ディスク(DVD-RAM)

IEC 60950 : 1991 Safety of information technology equipment including electrical business equipment

備考 IEC規格番号は、1997年1月1日から実施のIEC規格新番号体系によるものであり、これより前に発行された規格についても、規格番号に60000を加えた番号に切り替えた。これは、番号だけの切替えであり、内容は同一である。

4. 定義 この規格の用語の定義は、次による。

4.1 カートリッジ(Cartridge) 書換形ディスクが収納されているケースからなるデバイス。

4.2 ケース(Case) ディスクを保護するための入れ物。

5. 慣例及び表記法

5.1 数値表示 測定値は、該当規格値の最下位けた(桁)に丸める。例えば、+0.01のプラス許容差と-0.02のマイナ